

上田市教育委員会 12月定例会会議録

1 日 時

平成24年12月19日(水) 午後2時30分から午後4時8分まで

2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

3 出席者

委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	城下 敦子
委 員	小市 正輝
委 員	山崎 順子
教 育 長	小山 壽一

説 明 員

武井教育次長、廣川教育参事、小野塚教育総務課長、倉島学校教育課長、小山人権同和教育政策幹、土屋文化振興課長、佐藤スポーツ推進課長、児玉丸子地域教育事務所長、掛川武石地域教育事務所長、藤沢真田地域教育事務所長、宮之上第一学校給食センター所長、池田城南公民館長、山崎西部公民館長、大滝上田図書館長

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 上田市図書館協議会委員の委嘱について(上田図書館)

資料1により大滝上田図書館長説明

小市委員

資料の任務内容には、図書館の運営に関する館長の諮問とある。例えば、利用促進をどのようにしたらいいか、蔵書をどう増やしたらいいかなどを審議されるかと思うが、任務内容についてもう少し詳しく教えて頂きたい。

大滝上田図書館長

これまでの事例から申し上げますと、図書館の休館日や開館時間の調整、真田図書館にICチップが導入されたが、そのICチップ導入の考え方、あるいはインターネット予約等についてなどが諮問内容になっている。また、蔵書については、上田市にあるいくつかの図書館のそれぞれの特徴についてどのように考えていくか、行政側も考えがあるが、利用する側、一般市民の皆さんからはどう受け止められているかなどの意見をお聴きしている。

小市委員

図書館は随分整備されてきたと思う。次のステップアップとしては、例えば赤ちゃんが生まれたときに本を読み聞かせる機会をつくるためにファーストブックプレゼントなどを行っている市町村もあるが、シフトを変えて、図書館がどうしたら身近になるのか、あるいは、小さなときから本に親しみ情操を豊かにするにはどうしたらいいかといった分野についても協議いただくことがよい。

大滝上田図書館長

市では、ブックスタート事業として4か月検診時に5冊の中から2冊を選んでもらう本のプレゼントを行っているが、そのフォローとしてのセカンドブックや、さらに時間が経った後にやる事業はまだできていない。そうしたことも含めて検討していきたい。

城下委員

協議会は年に何回行われるのか。

大滝上田図書館長

今年度については、正式なものとして4回の協議会が行われた。ただし、委員が積極的であり図書館が好きな方が集まっていることもあり、自主的に情報ライブラリーに集まり月に1回は勉強会のようなものを行っている。

西田委員長

女性の登用率50%とあるが、年齢はどうか。

大滝上田図書館長

年齢的には、30代、40代、50代、60代の方がいる。

小市委員

子供たちが親から本を読んでもらっているときの表情はとても満ち足りていると思うが、あるところではその表情を写真に撮ってコンクールにしている。また、親自身が子供に読んであげたときにどのように反応したかを親の立場で作文にしているというところもある。要望であるが、図書館に親しんだり本に親しんだりするということを積極的に進めてほしい。

全委員 了承

(2) スポーツ関係市長表彰について(スポーツ推進課)

資料2により佐藤スポーツ推進課長説明

西田委員長

ビル・レッティ監督は、選手としても参加していたのか。

佐藤スポーツ推進課長

かつて選手として12年間走ったと聞いている。選手時代に助監督等もしたが、現在は現役を引退して指導に専念し、その後4年間好成績を上げてきた。

西田委員長

どのように表彰するのか。

佐藤スポーツ推進課長

市長表彰は、表彰状と記念品となっている。記念品としては、ビル監督が当日の大会でも監督賞としてトロフィーをもらったが、それよりももう少し立派なトロフィーである。表彰式は1月9日に開催の予定である。

全委員 了承

3 報告事項

(1) 浦里小学校校舎焼失に係る対応状況について(教育総務課・学校教育課)

資料3により小野塚教育総務課長及び倉島学校教育課長説明

西田委員長

住民決議の中に「2か月たっても未だ回答がありません」とあるが、時系列としてはどうなるか。

小野塚教育総務課長

要望書が9月25日の日付で出されている。このときは、教育長も立ち会ったが、回答はしないということであった。後日、それでもとの思いから浦野自治会長の小泉会長に学校教育課長から確認したが、そのときも回答はしないという話を受けていたので、こちらからは回答していない。学校運営協議会からの意見書については回答してある。

城下委員

何をもって学習環境を整えたとして完了するのか。

小野塚教育総務課長

焼失した教室は普通教室をはじめ理科室、図書室等もあったが、南校舎を中心に整備を進めてきており、そうした機能が充足できる整備をもって一応の完了と考えている。教室等が不足する分については、今回の仮設校舎等をつくることで補っていきたい。

城下委員

完成はいつか。

小野塚教育総務課長

予算が議決されたのでこれから正式に契約等の準備となるが、入札等の手続きを経ながらであり、年度内に間に合うか、一部、新年度に繰り越す場合も考えられる。建設資材がうまく調達できれば早く進むと聞いているが、今のところ見通しがはっきりしない。年度内の工期として進めるが延びる可能性もある。

城下委員

自校給食ではないことに関しては了解されているのか。

小野塚教育総務課長

学校運営協議会から出された意見に対して、回答の中には給食のことをあえて尚書きとして入れている。給食は、第二学校給食センターからの配送を続け、給食受入室を建設することが現実的であるためそのように回答した。この回答文書は要望した方も見ているが、給食については、今のところは特段大きな要望は返ってきていない。

小山教育長

浦里小の子供たちはよく食べるようで、給食センターでも空の容器が返ってくるため量をだいぶ増やしたが、逆に、増やしても皆全部完食するため校長先生から量が多すぎるので元に戻してくれと言われて元に戻した状況である。給食については、給食センターになったから違和感があって、子供たちの食べる量が減ったというような状況はない。学校運営協議会にもそのことは説明した。

西田委員長

給食に関しては、具体的な希望や意見は出ているか。給食が変化したことに対してどのような反応があるのか。

小野塚教育総務課長

校舎再建とともに給食室も再建してほしいと要望書の中にもあるので、これについては基本的には給食室再建の気持ちがあると思われる。第二学校給食センターから配送されている給食について、保護者に食べてもらったりしているが、今のところ大きな反対の声は聞こえてこない。

小市委員

学校運営協議会に回答を出したが、回答を出すことによって地元自治会の小泉会長の方にも伝わっているのか。あちらこちらから要望が上がってきたときに、こちらではその都度答えなければならないのか、それとも学校運営協議会に答えれば全部に伝わっているのか。基本指針が違ってくると困るがどうか。

小野塚教育総務課長

学校運営協議会のメンバーの中には、支える会の代表のような形になっている小泉浦野自治会長がいるので伝わっていると思うが、正式にその方たちを集めての話はしていない。

西田委員長

いろいろな組織から、いろいろな要望書が上がってくることに、回答の中身もさることながら回答の仕方はどうか。

小山教育長

12月議会の浦里小に関わる一般質問においても、浦里地区の方が大勢傍聴に来ており、上田市及び教育委員会としての答弁を聴いているので、どのような方向に進もうとしているかについては承知している。ただし、それでいいかどうかということは別の問題である。

また、住民決議については、教育委員会だけではなく市長に対しても出されているので、足並みを揃えなくてはならず教育委員会単独で回答を出すことはできない。

西田委員長

一本化するなど、どこかを窓口にするというような地元とのコンセンサスはあるか。

小野塚教育総務課長

地元ではいろいろな組織をつくっており「支える会」や「住民集会」と名乗っているが、構成メンバーはほぼ同じである。その中で特に学校との接点が多いのは、学校運営協議会である。そこでは毎月1回定期的に協議会を開いており、その中で施設整備の状況を話す機会もあるため、地元にはかなりこちらの意図が伝わっていると思われる。

また、地元の動きとして署名を集めているということも聞いており、いずれ署名を持って市長なりに面会を求めてくることも考えられるが、現在は、教育委員会が窓口になっており、教育委員会に話が来るような状況である。

小市委員

名称を変えていくつか団体から要望が上がって来るが、それぞれの答え方に違いがあってはいけない。

西田委員長

時間的な経過も必要だと思われるが、ある時点では、窓口一本化という言い方はおかしいかもしれないが、要望や回答の相手は複数ではなく一箇所にして欲しいという希望を出すことはできないか。

小山教育長

なかなか難しいと思われる。こちらは聞くがこちらは聞きませんということとはできない。

それぞれの団体の声はとにかく受け止めていくということになるだろう。ただし、中でも学校運営協議会は市が設置した公的な機関であり、ルールとして市や教育委員会に対して要望を出すことが出来る。これは、要望があればこちらとしては正式に返答しなければならない関係にある。

また、様々な団体から要望を受ける中で、回答を求められれば、それぞれの団体に回答を出すべきである。組織を一本化して一団体にするなど、こちら側から申すべきではないと考える。

城下委員

いろいろな団体があって、それぞれの対応はこまめにとということになるが、後で言った言わないの騒ぎになることは困る。そのようなことがないように、決まったことに対してはきちんと書面で出すなどの丁寧さが必要ではないか。

西田委員長

自治会は自治会の中で組織的に要望が上がってくると思うが、学校運営協議会と自治会の関係はどうか。

小野塚教育総務課長

全く別の組織だが、今回のことについては一緒に行動している。

西田委員長

事務局としてそれぞれ個々に対応するとのことだが、今後もそれで大丈夫なのか。

小野塚教育総務課長

特に今回の件について個々にとすることは考えていないが、心配しているのは、保護者に対しては学校を通して説明している段階であり、このような要望があるということを直接説明することがいいのか学校側と相談しているところである。

西田委員長

なるべく多くの意見を汲み取らなければならないということ、窓口がたくさんあるということ、それが重複しているということから、なかなか対応が難しいと思われる。

山崎委員

本日の会議資料の内容は、地元も見ることができるのか。

小野塚教育総務課長

会議資料は公開されている。また、内容は議会でも説明してきており、学校運営協議会の委員にも既に説明してある。

全委員 了承

(2) 平成24年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる

文部科学大臣表彰の受賞について(学校教育課)

資料4により倉島学校教育課長説明

全委員 了承

(3) 学校教育関係寄附の状況(学校教育課)

資料5により倉島学校教育課長説明

城下委員

中塩田小学校にミシンが寄附されているが、同校のミシンは古かったり足りなかったりしたということか。

倉島学校教育課長

使えないという状況ではなかったが、寄附者に替えてやろうという思いがあり、頂いたものである。

(4) 平成25年上田市成人式実施概要(生涯学習課)

資料6により浅野生涯学習課長説明

全委員 了承

(5) 上田ときめきサミット学生会議事業報告(生涯学習課)

資料7により浅野生涯学習課長説明

西田委員長

面白かった意見などはあるか。

浅野生涯学習課長

あるグループからはシェアハウスというアイデアが出された。これは空き家や空き店舗等を利用して学生の交流の場をつくりたいというもので、実現したいという意見もあった。

城下委員

意見を出してもらってそのままということではなく、そこに行政が手を差し伸べて実現できるような仕組みがあると、ますます学生たちの意見が輝いてくると思う。

浅野生涯学習課長

この後、学生からはこれを実現するには具体的にどうしたらいいかなどの相談もあり、早速、商工課や雇用促進室と協議する場をつくった。

城下委員

この会議は見学もできるのか。

浅野生涯学習課長

できる。大学や専門学校の先生方も見学していた。

西田委員長

この会議内容を今後どうやって展開していくのか、予定のようなものはあるか。

浅野生涯学習課長

関係各課には、このような意見が出されたということを報告していく予定である。

西田委員長

フィードバックが必要なので検討してほしい。こういう形で実現されたなどのフィードバックがあると、意見を出した側にも非常に満足感がある。

全委員 了承

(6)平成24年度「青少年善行表彰」及び「家庭の日」作文審査結果について(生涯学習課)
資料8により浅野生涯学習課長説明

全委員 了承

(7)4大学リレー講座「未来学科」2012事業報告(生涯学習課)
資料9により浅野生涯学習課長説明

西田委員長

受講者数が過去最高ということだが何がよかったと考えるか。

浅野生涯学習課長

ひとつは、今回が4回目であり周知が進んでおり、リピーターも3割ぐらいいることである。また、今回は日程を土曜日に統一して4回行なった。講義の内容も魅力的なものが揃っており、各大学では熱心に取り組んでもらったと実感している。

今回、特別プログラムが非常に好評だったので、今後も何らかの形で拡げたい。

全委員 了承

(8)第16回うえだ城下町映画祭 開催報告(文化振興課)
資料10により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

(9)国の文化審議会の文化財登録の答申について(文化振興課)
資料11により土屋文化振興課長説明

西田委員長

これらの文化財は、火災に対して何かきちんとした基準などはあるか。

土屋文化振興課長

特段ない。所有者の責任において対応することになる。依水館については、上田市の所有であり防火設備などの対応をしている。

全委員 了承

(10) スポーツ関係市長表敬訪問者報告(スポーツ推進課)

資料12により佐藤スポーツ推進課長説明

全委員 了承

(11) 行事共催等申請状況について(学校教育課・生涯学習課・文化振興課)

資料13-1により倉島学校教育課長説明

全委員 了承

資料13-2により浅野生涯学習課長説明

全委員 了承

資料13-3により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

(12)(仮称)上田市写真美術館の事業計画について(文化振興課)

追加資料により土屋文化振興課長説明

小市委員

今後、交流文化施設で行う山本鼎や石井鶴三の展示は常設展や企画展になると思うが、ハリー・K・シゲタも何か月かおきに展示されるということか。

土屋文化振興課長

現在の管理計画の中では、郷土作家である山本鼎、石井鶴三、ハリー・K・シゲタ、中村直人などについて顕彰することになっている。美術館は常設会場と企画会場とに分かれているが、常設会場に郷土作家を顕彰する予定であり、ときには郷土作家に関係した企画展も計画されるだろう。

全委員 了承

4 その他

- ・山崎西部公民館長より『公民館だより』の説明
- ・児玉丸子地域教育事務所長より『丸子公民館だより』の説明

閉会